広報

Minami Alps City

南アルプス

2023

4

No.241

●特集シリーズ まちづくり

安心して暮らせるまちづくり

こども・子育て応援宣言

【ふるさとの誇りシリーズ】

山梨初のエスエスは西野から

安心して暮らせるまちづくり

小学生による消防本部の見学

市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりのために、南アルプス市消防本部では、さまざまな取り組みを行っています。多様化する社会のニーズに対応すること、世界的な気候変動に伴う災害に対応することなど、今回は近年、消防を取り巻くさまざまなテーマについて取り上げました。

女性消防士

【女性消防士の活躍推進について】

多様化する社会のニーズに対応することの一つに、女性消防士の活躍を推進する取り組みがあります。消防＝男性の仕事というイメージが強いと思いますが、今まで男性が中心であった消防の現場に、女性消防士を取り入れることは、女性の視点から住民サービスを提供することにつながり、子どもや高齢者、災害時の要支援者などへの対応力が向上する取り組みとして全国的に進められています。

小松消防士

救急資機材の確認作業

県内の消防本部では、令和４年４月１日現在28名の女性消防士が在籍しており、南アルプス市消防本部では現在１名の女性消防士が活躍しています。今回は、配属から２年半が経過した小松消防士に、消防業務に取り組んだ現在の感想などを聞いてみました。

救急訓練の様子

現場に立ってから2年半が経ち、多くの災害現場に出動してきました。救急現場で、傷病者や家族の方に「女性の隊員さんで良かった」「安心した」「ありがとう」と、声をかけてもらった時、女性消防士として、達成感を得ることができています。傷病者が女性の場合には、私が対応することで抵抗感なく、スムーズに観察や救護活動ができると感じています。また、消防署の見学に来た子どもたちに「かっこいい」「私も消防士になりたい」と言ってもらえた時は、子どもが憧れる職業なのだと誇らしく思います。

「消防は男性がやる仕事」「消防は力仕事」と思われることもあるかもしれませんが、「女性だからこそ」「女性にしかできない事」があると思います。消防の仕事は隊活動であり、一人だけではできない事がほとんどです。これも消防の仕事の魅力だと思います。消防士を目指している方、この記事を読んで、消防の仕事に興味を持った方、そんな方の背中を押せたら嬉しいなと思います。

水災害対策

【船外機付きボートの配備について】

次の取り組みは、各地で多発している水災害に備え、迅速な救助活動が実施できるよう、新たに配備した船外機（エンジン）付きボートについてお伝えします。

近年、集中豪雨等により、各地で発生している水災害は、市内においても例外ではなく、長時間雨が継続した場合、河川の氾濫や浸水、数時間経過しても水が引かない地区があり、避難のタイミングを逃すと命を脅かす事態が予想されます。

南アルプス市消防本部では、そのような水災害においても迅速な救助活動が実施できるよう、新たに船外機付きのボートを令和3年度に配備しました。今後も訓練を重ねることにより、ボートの操作技術を向上させ、水災害に備えていきます。

船外機付きボート

救急処置の高度化

【高度シミュレーター人形の配備について】

平成3年の救急救命士法制定以降、救急救命士が行う救急処置は、年々高度化が進んでいます。近年の救急件数の増加や、救命率向上に伴う救急資機材の高度化に対応するため、消防本部では令和4年度に、より高度な救急処置トレーニングが可能となる「高度シミュレーター人形」を配備しました。この人形は、不整脈等の情報をタブレット端末に入力することで、心電図波形等を表示することができ、今まで以上に実践的な訓練が可能となりました。今後は、この「高度シミュレーター人形」を活用し、職員の救急技術と知識を向上させ、迅速で適切な救急処置につなげていきます。

高度シミュレーター人形

今回の特集では、南アルプス市消防本部が行っている取り組みや、新たに配備した資機材について紹介しました。

南アルプス市消防本部では、これからも市民のみなさまの安心な暮らしを守るために、事故や災害などに備え、引き続き訓練や技術の向上を図って参ります。

お問合せ／消防本部　予防課　☎282-7219